



ハイブリッド給湯器「エコワンの設置は直近5年間で20台を超える。

最近では炊飯器用途でガスを使い、給湯をエコキュートで賄っていた顧客も以前の月1立方メートルから5立方メートルに伸びるなど需要増につなげている。

顧客の「ガス料金をな

田茂代からエコキュートの故障で相談を受け、即座に給湯機能機を仮設して対応した。顧客との対話から、ガス料金を抑えながら快適性を実現するハイブリッド給湯器の良さを店におらず配送、検針、

3人体は約1割と低い。提携先の不動産事業者に対し、入居者にスイッチングを勧めもらうなど営業活動にも積極的だ。新事業

で、しかも予想以上に顧客が増え点検に追われる日々だが「1年余り経って保安活動も落ち着き、

約1割と低い。提携先の不動産事業者に対し、入居者にスイッチングを勧めもらうなど営業活動にも積極的だ。新事業

で、しかも予想以上に顧客が増え点検に追われる日々だが「1年余り経って保安活動も落ち着き、



顧客との対話から自然な流れでハイブリッド給湯器の設置を進める岡田商店

工事、電気工事など個人的に付き合いのある仲間が携っている」と話す。機器販売などには「仲間」との協業体制が欠か

流。ランニングコストを重視する顧客にも誠実に向き合いながら、売り上げを方販売だけでなく、機器販売や工事で作っている」と意識を向けて

「LPガス販売店は、宿舎に改築する最中だった。岡田商店はLPガスの供給、全自動給湯器、

約1割と低い。提携先の不動産事業者に対し、入居者にスイッチングを勧めもらうなど営業活動にも積極的だ。新事業

で、しかも予想以上に顧客が増え点検に追われる日々だが「1年余り経って保安活動も落ち着き、

ガス温水床暖全国に

受電量抑え安全・快適化

リボンガス 熊本市

内海久俊代表



リボンガスの内海久俊代表が全国展開するFH Sネットワークは、各地の医療介護施設や老人施設、保育園などへの温水床暖房導入提案を加速している。さらなる普及展

開に向け昨年、新たに登録した商標が「ユカカラ暖房」。電気カーペットや石油ストーブ、ルームエアコンなどの補助暖房を必要とせず「床から」ユカカラ暖房の普及を後

宮崎市に昨年9月にオープンしたばかりの住宅型有料老人ホーム「ソライエ」もその一つ。解放感のある吹き抜けが特徴の食堂兼ホールに、建設段階からFH Sのユカカラ暖房を導入した。

施設を運営するフレンドリーの国島暢高代表は「もともと温水床暖房に興味があり、太陽光発電パネルを設置する関係で設計当初は電気式を検討していたが、受電契約やキュービクルの問題でガス式に変更した。思い描く施設に最適な製品をネ

カカラ暖房を知り、価格や性能、工期などを総合的に勘案して採用を決めた」と経緯を語る。

施工は、施設にガスを供給する宮崎液化ガスの協力を得て行った。150平方メートルのホールと合わせ、自由設計の利点を生かし、中庭を囲む廊下と事務所にも敷設した。ユカカラ暖房は吹き抜けを持つホールにうってつけで、天井付近の空間ばかりを暖める無駄をカットし、足元からじんわりと室内全体を暖める。40人が入居可能な施設には現在27人のお年寄りが暮らし、明るい吹き抜けから

先でガス暖房を求められた際には50坪タイプと浴暖、ファンヒーターを設置。月10立方メートル以上の需要創造につなげた。

直近では、新築向けにハイブリッド給湯器2台を見込む。2件とも10坪タイプと合わせ床暖房と浴室暖房をバックインする。

常に日々の顧客との対話からニーズを丁寧に吸い上げる岡田商店。接点を多く持ち、自然な流れで機器販売につなげ新規需要を開拓している。

内海代表は「床からの放射熱で部屋全体を暖めるのがユカカラ暖房。空気が乾燥せず、対流が起きないので感染症予防にも有効。医療介護施設や老人施設への設置をお勧めする」と自信を見せる。

設置先の一つ、住宅型有料老人ホーム「ソライエ」。吹き抜けのある暖かいホールに入居者が集まる

